

評価対象年度	令和4年度
--------	-------

施策評価シート

政策	産業人材の育成と産業基盤の活用によって持続的な成長の基礎をつくる
----	----------------------------------

施策番号	5	施策名	時代に対応した宮城・東北の価値を高める産業基盤の整備・活用
------	---	-----	-------------------------------

施策担当課室	総合政策課
--------	-------

目指す宮城の姿(施策目標)	<p>①震災復興を経て機能が向上した空港や港湾・漁港、道路、農地、森林等を始めとする産業基盤が、各産業のニーズの反映や先進的技術の導入などによって更に整備・機能強化されることで、その価値が高まっています。</p> <p>②東北各県が連携し、圏域内の経済や交流が活性化され、各産業の高付加価値化や交流人口の拡大が進むことで、東北が自立的に発展しています。</p>
---------------	--

実現に向けた方向性	<p>◇各産業技術のイノベーションや変化するニーズに対応するため、AIやIoTといった先進的技術も活用しながら、生産・物流・交流の基盤を整備・機能強化し、更なる地域経済の発展を促進します。</p> <p>◇ものづくりや農林水産業、観光業といった様々な分野において、震災からの復興を契機に整備された産業基盤等を有効活用し、民間の活力も最大限に生かしながら、地域産業の活性化を図ります。</p> <p>◇東北内における産業基盤の機能分担や、官民による東北の連携を更に促進し、東北のゲートウェイ機能を一層強化することで、各産業の高付加価値化や人材の確保、交流人口の拡大を図ります。</p>
-----------	---

決算(見込)額(千円)	年度	令和3年度(決算額)	令和4年度(決算(見込)額)	令和5年度(決算(見込)額)	令和6年度(決算(見込)額)
	県事業費	28,763,702千円	7,587,357千円	-	-

目標指標		達成状況 (達成率は初期値から目標値までの進捗割合を示したものの)				
		初期値(設定年度)	実績値(測定年度)	目標値(令和6年度)	達成率 目標指標の種類	達成度
31 (①)	スマートインターチェンジ等の設置数(箇所)[累計]	7箇所 (令和2年度)	8箇所 (令和4年度)	8箇所	100.0% 進捗割合型I	A
32 (①)	仙台塩釜港(仙台港区)におけるコンテナ貨物の取扱量(実入)(万TEU)	19.7万TEU (令和元年)	17.3万TEU (令和4年)	19.7万TEU	87.8% 現状維持型I	B
33 (①)	仙台塩釜港(仙台港区)の取扱貨物量(コンテナ貨物を除く)(万トン)	3,330万トン (令和元年)	2,972万トン (令和4年)	3,330万トン	89.2% 現状維持型I	B
34 (②)	仙台空港乗降客数(万人)	371.8万人 (令和元年度)	279.4万人 (令和4年度)	371.8万人	75.1% 現状維持型I	C
35 (②)	仙台空港国際線乗降客数(万人)	37.9万人 (令和元年度)	1.5万人 (令和4年度)	37.9万人	4.0% 現状維持型I	D
36 (②)	東北6県及び新潟県の延べ宿泊者数(万人泊)	4,294万人泊 (令和元年)	3,477万人泊 (令和4年)	3,835万人泊	90.7% 現状維持型I	B

■達成度【進捗割合型】 A:達成率50%以上 B:達成率40%以上~50%未満 C:達成率30%以上~40%未満 D:達成率30%未満
 【現状維持型】 A:達成率100%以上 B:達成率80%以上~100%未満 C:達成率60%以上~80%未満 D:達成率60%未満

施策の成果の検証				
県民意識	本政策において優先すべきと思うテーマ	⑤生産・物流・交流基盤の機能強化	33.0%	3位
		⑥産業基盤の有効活用	15.0%	7位
		⑦東北のゲートウェイ機能の強化	24.6%	5位
施策の成果	①関連	<p>◇産業基盤の有効活用については、仙台塩釜港において、船舶の大型化やコンテナ貨物の増大に対応するため、高砂コンテナターミナルの拡張整備(4ha)を推進した。また、県と東日本高速道路株式会社が共同し、村田町と連携して整備を進めてきた東北自動車道の菅生スマートインターチェンジが完成した。当施設は、既存のパーキングエリアに接続しており、山形県方面から仙台空港への利便性が向上するとともに、全国からの誘客が期待されるスポーツランドSUGOへのアクセスが改善された。</p> <p>◇産業分野のイノベーションについては、農業への就労人口が減少している中で民間企業の進出や効率的な農業経営を促進するため、位置情報の精度が高く誤差が数cm以内に抑えられるRTK(Real Time Kinematic)基地局を県内に7箇所設置するとともに、自動操舵システム等のスマート農機具の導入を支援した。</p>		
	②関連	<p>◇東北のゲートウェイ機能の強化については、新型コロナウイルス感染症の影響で約3年間運休していた仙台空港の国際線定期便(仙台-台北線)などが再開され、来年度以降のインバウンド拡大や交流人口増加が期待される。</p> <p>◇水産業の高付加価値化については、広島県と連携し、牡蠣をジャパンブランドとして、マレーシアの現地店舗を通じた海外販路拡大に取り組んだ。</p>		
施策を推進する上での課題と対応方針				
施策の課題		課題解決に向けた対応方針		
<p>・港湾利用について、新型コロナウイルス感染症の影響により落ち込んだ貨物の回復に向け、取扱貨物量増加の機運を更に高めるための高砂コンテナターミナル整備とポートセールスによる利用促進の取組が重要である。また、新たな販路拡大につなげるため、農林水産物の輸出促進にも取り組んでいく必要がある。</p> <p>・仙台空港利用について、引き続き利用率等の回復に向けた対策を取る一方、新型コロナウイルス感染症の感染法上の位置付けが5類に移行していく中で、持続的に圏域内の経済や交流が活性化していくためには、官民が連携し、交流人口を拡大していく取組が必要である。</p>		<p>・船舶の大型化やコンテナ貨物量増加に対応するため、高砂コンテナターミナル拡張工事を推進するとともに、ターミナル荷捌地の効率的な活用を検討し、ポートセールスによる仙台塩釜港の利用促進を図る。</p> <p>・東北経済連合会と連携した、サツマイモの香港輸出も試験的に導入されており、東北各県や関係機関との連携強化を図り、東北製品のブランド化に取り組む。</p> <p>・デジタルマーケティングにより旅行者のニーズの変化を的確に把握し、戦略的なプロモーションを行うことにより、国内外からの誘客促進を図り、仙台空港の利用促進につなげる。また、長期滞在による観光消費の拡大を目指し、近隣自治体や東北観光推進機構をはじめとする関係機関と連携のもと、広域周遊観光の促進により東北エリアへの誘客を強化し、交流人口の拡大を図っていく。</p>		
施策目標に対する成果の検証	目指す宮城の姿の項目ごとに対する評価			
	①関連する目標指標のうち、スマートインターチェンジの設置については目標値に達することが出来た。また、仙台塩釜港の整備・活用は概ね順調に進んでおり、貨物の取引量も概ね順調に推移していることから、総合的に「概ね順調」と評価した。	概ね順調		
	②仙台空港において、国際線定期便が再開されるなどポストコロナに向けたインバウンドの拡大、地域経済の活性化が期待されるが、関連する目標指標の実績値については、回復傾向にあるものの、新型コロナウイルス感染症の影響等によりやや落ち込みが見られることから、総合的に「やや遅れている」と評価した。	やや遅れている		
【評価のまとめ】				
項目①を「概ね順調」、項目②を「やや遅れている」と評価したが、県民が重視する「生産・物流・交流基盤の機能強化」の分野において、農業のDX化に向けた基盤整備が進んだほか、仙台空港乗降客数が前年度比で169%、東北6県及び新潟県の延べ宿泊者数が前年度比で約124%と回復傾向にあること、国際線定期便が再開したこと等を鑑みて、総合的に本施策を「概ね順調」と評価した。				
成果の検証を踏まえた評価原案		概ね順調		

時代に対応した宮城・東北の価値を高める産業基盤の整備・活用

No	推進事業名	担当部	担当課室	決算(見込)額 (千円)	事業概要及び実績
1	地域連携推進事業	企画部	総合政策課	3,000	事業概要 他県連携、ILC推進等 事業実績 合同オンライン移住フェアを開催し、当日のアクセス数として2,003ビューを獲得するなど、各種事業の実施により、あわせて全国28都道府県との連携の更なる深化を推進した。
2	水産物供給基盤機能保全事業	水産林政部	漁港整備推進室(漁港復興推進室)	1,537,583	事業概要 漁港施設の機能診断、機能保全工事等 事業実績 松岩漁港外12漁港において漁港施設の機能保全工事を実施し、鋼構造物の耐用年数が50年となったことで、施設の長寿命化が図られた。
3	農林水産金融対策事業(林業)	水産林政部	林業振興課	163,000	事業概要 木材生産・流通事業者への資金融通助成 事業実績 木材産業事業者に対して、運転資金として木材産業等高度化推進資金を6者に融資したことで、木材流通の合理化を促進し、木材供給の円滑化を図った。
4	交通安全施設等整備事業	土木部	道路課	1,569,516	事業概要 歩道整備や交差点改良等 事業実績 交通安全プログラムなどに基づき29箇所の歩道整備や交差点改良等を実施したことで、安全で快適な歩行空間が整備され、児童等の安全確保が図られた。
5	道路改築事業	土木部	道路課	2,503,476	事業概要 道路拡幅やバイパス整備等 事業実績 21箇所の道路整備が完了したことで、社会資本の骨格として、災害に強く、富県躍進や地域生活を支える道づくり等が推進された。
6	雪寒事業	土木部	道路課	88,017	事業概要 雪崩対策や消雪施設整備等 事業実績 雪崩発生リスクの高い2箇所の雪崩対策及び老朽化した2箇所の消雪設備修繕を実施したことで、冬期間交通の安全性の向上につながった。
7	港湾整備事業(政策課題枠)	土木部	港湾課	885,757	事業概要 港湾整備 事業実績 仙台塩釜港(仙台港区)において、コンテナ貨物の増大に対応するため、高砂コンテナターミナル拡張整備(4ha)などを推進した。
8	港湾整備事業(政策課題枠以外)	土木部	港湾課	735,940	事業概要 港湾施設の管理運営 事業実績 港湾施設の適正利用のため、荷役機械の修繕・点検等を実施したことで、本来の機能を確保でき、施設管理・運営の強化を推進した。
9	港湾利用促進事業	土木部	港湾課	3,388	事業概要 貨物取扱量の拡大等 事業実績 仙台塩釜港を利用又は利用を検討する企業等に対し、企業訪問(130社)や港湾セミナー(2回)等を通じてポートセールスを実施し、仙台塩釜港の貨物取扱量増加に向けた取組を推進した。
10	クルーズ船受入促進事業	土木部	港湾課	150	事業概要 大型クルーズ船の受入環境整備 事業実績 約3年ぶりとなるクルーズ船の寄港受入を実施(R4.11.3)。また石巻港大型客船誘致協議会と連携し、クルーズ船運行人社4者に対し、共同ポートセールスを実施し、クルーズ船の県内寄港に向けた取組を推進した。

No	推進事業名	担当部	担当課室	決算(見込)額 (千円)	事業概要及び実績
11	仙台空港利用促進 加速事業	土木部	空港臨空地 域課	90,080	<p>事業概要 仙台空港の利用促進</p> <p>事業実績 全国旅行支援の開始に合わせ、国内線においてキャッシュバックキャンペーンや、国際線の運航再開に合わせ、パスポート取得キャンペーンなど、機を逃すことなく事業展開し、航空需要の回復・拡大の取組を推進した。</p>
12	仙台空港国際貨物 拡大促進事業	土木部	空港臨空地 域課	950	<p>事業概要 貨物拡大促進</p> <p>事業実績 国際線が再開するこの時期を好機と捉え、荷主等を対象にした仙台空港航空貨物利用促進セミナーを開催(参加者23名)し、国際航空貨物量増加に向けて機運醸成を図った。</p>
13	「産業振興による 雇用」のための交 通環境整備事業	警察本部	交通規制課	6,500	<p>事業概要 新規開発工業団地等における交通安全施設の整備</p> <p>事業実績 岩沼市内の工業団地周辺道路に交通信号機1基を設置し、道路交通の安全と円滑化を確保した。</p>
推進事業決算(見込)額合計				7,587,357	